



Atsushi Mekaru

銘苺 淳の

# HAPPY HANDBALL

vol.8

## PROFILE

1985年4月3日生まれ、26才。沖縄県浦添市出身。港川中で野球から転向してハンドボールをスタート。那覇西高一筑波大を経てトヨタ車体に進み、時代を変えるセンターとしての期待を集めて躍動中。ひたむきな取り組み、明るく快活な性格で、ワールドクラスのコミュニケーション能力を誇る『ハンドボール界の松岡修造』。連日更新しているブログ「おにあくま」(<http://meka-atsu.jugem.jp/>)も好評だ。

おごらず、にくまず、あせらず、くさらず、まけるな!!

## 「その一瞬に輝けるように」

本格的な暑さが到来し毎日のトレーニングも大変だし、今年も寝苦しい夜が続きます。

しかし、こんな時に外に出て夜空を見上げると、きれいな星が見えたりします。私も小学生の時に田舎に行くと「本当はこんなにも星がいっぱいあったんだ」と実感したし、感動しました。流れ星なんか見つけると本当にテンションが上がりますよね↑↑ そういうわけで今回は流れ星の話。

### インターハイで優勝すること

夏本番と同時に、中学生、高校生など学生の全国大会が開催されます。チームによって目標はさまざまですが、それぞれのカテゴリーで全国制覇することは非常に難しいです。

私の恩師の新垣健先生はよく言っていました。「インターハイで優勝することは東大に入るよりも難しい」と。補足ですが、全国の高校生の数が約3360000人、毎年東大の入学者が3000人弱で倍率はおよそ1120倍です。日本協会に登録されている高校生(男子)が約28400人。インターハイで優勝するのは15人。倍率はおよそ1893倍となります。インターハイで優勝することがいかに難しいかわかりますよね。

### 勝つだけがすべて?

その年、その夏に優勝するのは確かに1チームだけです。しかし、負けたチーム、選手にもそれぞれのバックグラウンドがあります。家族や恋人や友人などたくさんの方が応援してくれると思います。

その人たちが試合を見て一喜一憂します。競技スポーツなのでもちろん結果が出ます。その結果は悔しさだったり喜びだったり、感動だったりすると思います。

私も高校3年生の時に県大会の決勝で負けてしまい、インターハイには行けませんでした。私自身もそれなりの想いを持ってハンドボールをしていましたから、負けた時はショックで呆然としていました。「終わったあ…」という気持ちでなにも考えることができなかったのですが、試合を見ていた恩師の東江功子先生が私のプレーを見て泣きながら「今日は淳のプレーに感動したよ」と言ってくれました。

その時、私は嗚咽が出るくらい号泣しました(笑)。私自身がハンドボールをする姿を見てもらって感動を与えたいなんて大きなことはとても言えませんが、見てくださった人が感動したり、元気になったり、勇気を持ったり、夢ができた、なにかのきっかけになったり、覚悟が固まったりしたならば、こんなにうれしいことはないです。競技スポーツなのでもちろん勝つことをめざしてやることは間違いありませんが、勝つことだけが応援してくださった人の気持ちに答えるというわけではないんですよ。

### 流れ星にな～れ☆

話を戻します。みなさんは流れ星を見たらどんな気持ちになりますか? 単純に「あぁ～!!」ってなりますよね。応援している選手にはそんな流れ星になってほしいと思います。

流れ星というのは宇宙を漂う数ミリか

ら数センチの宇宙の塵(ちり)です。それが何万年も宇宙を旅して、たまたま地球の大気圏に入った時に発光し、流れ星となります。それを見て私たちはテンションが上がるんですね。

これってハンドボールに似てると思いませんか? 例えば、高校生って入学してから何千時間も費やして練習しますよね。これは何万年も漂っている状態。そして、そんな時間に比べたら最後の試合の60分なんて、流れ星のように一瞬です。その一瞬に輝けるかどうか、流れ星になれるかどうか、その60分を見て応援してくれる人のテンションが上がるかどうか…。それが大事じゃないかなあと思います。

もちろん競技スポーツですから勝つことが一番うれしいです。ですが、もし負けたとしても流れ星を見て不機嫌になる人はいませんよね。

では流れ星になるには…? もちろん最後の60分で輝くために何千時間もかけて体と心の準備は必要です。そして私はどんな顔してハンドボールしているかに注目しています。得点しても淡々とこなしていたり、仲間のミスやジャッジに不満をためてイライラしては60分がもったいないです。

試合は表現の場ですから、今まで練習してきたことができたのなら体全部でうれしさを表現してほしいですし、ミスしてしまっても下を向くことなく切り替えて取り組んでもらいたいです。端的に言えば「キラキラ」してほしいのです。もちろんコートにいる時も、ベンチにいる時も、観客席にいる時も、です。

### みんなをハッピースマイルに

流れ星を見た時って、だれだってテンションが上がると思います。もし大切な人がキラキラしているなら、これはずっと忘れられない一瞬になると思います。そして、そのうれしさをお家に帰ってだれかに話したり、思い出したりする時、話している人もキラキラしていると思います。試合中だけではなく会場中も、その試合が終わってからも、みんなをハッピースマイルにしてしまう60分にしてほしいと思います。もちろん私も各大会において年間何試合あるうちの1試合ではなく、だれかにとっての忘れられない一瞬になれるように精進していきたいと思えます☆ みなさんも夏の夜空、もしくは夏の体育館でこんなにも星があったんだと感動し、刹那の輝き「流れ星」を見てテンションを上げてくださいね!!

いつもキラキラとプレーしてる淳

